



# NPO 金沢杜の里 NEWS

2022.4 No.40



浅野川湖畔(もりの里2丁目)

## 地域の交通安全活動



金沢中街頭交通推進隊 杜の里支隊

支隊長 坂本 一夫

杜の里支隊は六年前に活動し始めた、金沢中街頭推進隊の中でも新しい支隊です。それまでは田上支隊として活動していました。

田上地区町会連合会に田上地区防犯交通安全推進委員会が出来、この委員会の下で田上支隊と杜の里支隊が活動することになりました。現在の主な活動地区としては若松町、もりの里、旭町、角間。隊員数は五名、活動としては地域社会の「安全・安心」を確保するため、年四回の春・夏・秋・年末の交通安全運動、赤ランプ作戦による注意喚起活動、小学生や中学生の通学路上での安全指導、自転車安全運転教室、地域の祭礼や運動会等の安全確保、金沢市の行事「百万石まつり・ちようちん行列・百万石行列・金沢マラソン」への協力などです。

私が街頭交通推進隊に入隊して十年になります。入隊のきっかけは、近所の隊員の方からのお誘いでした。活動内容も知らずに軽い気持ちで少しでも地域に貢献できればとの思いから引き受けました。私が活動をして良かったことは、通学路に立ち子供たちと挨拶を交わすことで元気をもらえることです。

私たちが街頭に立ち、少しでも交通安全・事故防止・犯罪抑止に微力ながら貢献できるように努力していきたいと思っています。

# 令和3年度NPO金沢杜の里まちづくり活動状況

定款の事業名	事業名	事業内容	時期等	
特定非営利活動事業	調査・研究事業	①調査・研究会	●委員会開催 ●地区計画申請の事前審査 ●講演会の開催	6回 通年 中止
		②会員の拡大	●会員の勧奨 ●祭りギフト券の発行 ●その他のPR施策	通年 中止 随時
	啓発と普及を図る事業	③ニュース（会報）の発行	●ニュースの発行	4、7、11月
		④HP公開による情報公開活動	●サーバ管理	随時
	地域交流など交流連携推進事業	⑤まちおこしイベント等の開催及び支援事業	●若松三大まつりの支援 ●杜の里小学校育友会支援 ●自主防災組織の支援 ●金沢マラソンの支援 ●ミュージアムロードの支援	中止 11月 10月 10月 2月
			●花・いっぱい運動の推進 ●セットバック整備の推進	通年（7回） 通年
	環境保全・花いっぱい運動事業	⑦自然環境整備保全事業	●ホタルの育成活動の事業 ●卯辰山グリーンディ	10月、3月 3月
		⑧地域美化運動推進事業	●公共設備等の点検整備 ●幹線道路清掃活動の推進	随時 12月
その他の事業		●まちづくり環境整備受託事業 ●公共施設管理受託事業	●私有地の除草等 ●緑地小公園の管理	9、11月 毎月

## 街の声

「NEWS No.39号（R3.11）」等のご意見・感想から

☆優良公園愛護団体表彰の受賞おめでとうございます。日頃の清掃や除草と簡単に言うけど、継続して行うことは並大抵の苦勞ではないと思われまます。本当に頭の下がる思いです。今後もぜひ続けて「活動ください。ご苦勞様です。」

☆「わが町・探訪シリーズ」興味深く読んでいます。コロナが落ち着いたら、講演会や実際に歩くなどできたら、参加したいです。

☆去年、初めてコウテイグアと出会って感激しました。新聞等で知ってはいました。近所さんにコウテイグアを植えてあるお宅がありまして、買い物帰り廻り道をして少しづつ育っているのを楽しんでいます。肥しやら、手入れやら手間ひまに大変でしょうが、高く見上げて開花をめぐるはとっても新鮮です。わくわく!!

☆ホタル学習の記事より、夜、散歩していると、今年も鈴見しようぶ公園でもたくさんきれいなホタルが見れましたよ。山側環状道路沿いが発展しつつも、まだまだ自然豊かな杜の里地区が大好きです。

☆お米離れの日本で、杜の里小学校の子供たちが、奥卯辰山の棚田4段を利用して、田植えから稲刈りまでしていることを知って驚きました。これこそ食育です。

☆39号クロスワードパズルは、私にとって難問だったので、日数を要しました。ヨコやタテを考えるのを楽しんでいます。毎号のパズルを考えるのは大変ですね。尊敬しております。

☆いつもNPO活動お疲れ様です。コロナのせいで「ホタル学習とラ杜里」の活動が、例年とおりに進められなかったりと大変な中、工夫されて活動を続けていることが素晴らしいです。放流はとても楽しい活動になっていると思います。活動頑張ってください。

☆広報誌の発行大変でしょうね。一面の写真、NPOの行事、いろんな作業があるんですね。活力あるいい写りです。クロスワードパズルの答えは、地域の名称でどこにあるか参考になり、いつも頭の回転になります。

☆令和3年もコロナ、コロナで各イベントが中止になり、淋しい年でした。来年は開催でき、地域の活性化、みんなが語らい希望に満ちた、明るい年になればいいです。

☆山側環状の美しい景観を創る会長のお言葉「山環を花いっぱい」が、11月8日北國新聞「舞台」に掲載されました。金沢マラソンランナーが花を愛でながら駆けていく…なんて素敵な街なんでしょう。

☆「わが町・探訪シリーズ」を楽しんでいます。毎号大事にファイリングしてあります。いつも身近な話題が多いですが、No.39号では飛鳥奈良時代と言う壮大な時代考証で、それはそれで想像が広がりが面白かったです。

☆いつもクロスワードパズルを楽しませてもらっています。簡単に解けないので、ついハマります。正解かどうか分かりませんが、「杜の里記念緑地公園」がどこにあるのか？ 見つけられませんでした。末筆ながら数々の奉仕に心から感謝申し上げます。

☆優良公園愛護団体表彰、受賞おめでとうございます。NPOの皆様の日々の活動に感謝です。いつもありがとうございます。クロスワードパズル楽しみの一つです。

## わが町・探訪シリーズ21 「牛坂用水」と「口分田」

田上郷の道公は平安時代の中頃に衰退し去りますが、新領主との引継ぎは円滑に行われた形跡があります。歴史学者の浅香年木氏は、平安時代中期に道公の末裔の上道（かみのみち）は、白山本宮（白山比咩神社）のトップ（神主）として祀りの権利を掌握し、鎌倉・室町時代を生き延びたと述べています。田上の若松遺跡集落と北遺跡集落は古墳時代に放棄し、数百年経った平安後期に元の位置に戻りますが、新設地に新たな集落（田上西遺跡・カーマ駐車場辺り）を連れてきました。集落の増加は「50戸（集落）で里（郷）をつくれ」という奈良時代の大宝令によるもので、集落数の調整が行われた結果といえます。歴史書に平安時代以降は公領（荘園）の耕作地が遠隔地で往復が困難の場合、隣接地に居住用の田屋を設ける出作が行われたとあり、大規模な出作の田屋が仮集落と考えれば理解できます。私見ですが、仮集落は旭町の牛坂八幡神社辺りから移って来た可能性があります。その根拠の1つが「口分田」といえます。「日本の歴史」によると、飛鳥時代の661年（白雉2）ごろに戸籍が作られた。律令国家の財政を支えるため、国司は戸籍に基づき、全ての農民に口分田（くぶんでん）を与えた。口分田は6歳以上の男子は2段（反）で720坪、女子は男の3分の2で480坪、奴婢（ぬひ・召使の男女）にそれぞれ3分の1を与えた。死ねば国家に収めるが、与えられた口分田は耕そうと小作に出そうと、売りさえしなれば自由だった。家族が増えれば口分田も多くなり、道路・用水築造などの労役に自分の代理を出せた。春に担当者が国家の法を説明し、郡司が政務する倉から農民に種モミ10束の稲を貸し付けた。郷長は11月の末に1段につき2束2把の田租を徴収し、郡司が政務する郡家の倉に納めた。口分田は水源と日当たりが重要で、越前国敦賀郡の農民の場合、100<sup>キ</sup>も離れて与えられていた。遠くの場合は小作にだし、その賃租料は収穫高の5分の1だった。口分田は農民の人口増加もあり、10世紀の初めにはほとんど廃絶したとあります。

上田上（田上本町）・下田上（田上町）・角間・若松・鈴見・牛坂（旭町）集落の全てが3家族で、1家族が6歳以上の男4人、女4人の8人家族である場合、1家族の口分田は4,800坪で、1集落の口分田は1万4,400坪となり、6集落の口分田の総面積は8万6,400坪となります。豪族道君は灌漑工事を手取川扇状地で行い勢力を上げたといいますが、旭町は約11万坪の平地を抱えながら耕地整理を1度も行わず、昭和47年まで南北に縦断する幹線道路（下田上橋⇄天神町）は、牛坂用水（旭用水）を造るときに盛られた、土手道の1本だけでした。田上本町は国司が統治する国領で、平安時代の間は集落（ゲンキー辺り）を放棄し、若松町と鈴見町には集落を置かず、水源の乏しい田上町に3つの仮集落を置いていた。さらに角間集落は田上北遺跡に居住していた痕跡があることから、広大な口分田は、浅野川両岸の沖積地を領地とする旭町に存在したといえます。大和政権への貢納物のために、牛坂用水を築いた道公は去りますが、その後も京都御所の清涼殿・殿上とのひさしにおいて、天皇に仕える侍臣や上層貴族の太政大臣らが食する「殿上米」を生産し、白山本宮（白山比咩神社）の神主には成蘇（チーズ）と絹糸を納めていました。特別農民だった6集落は最新の農業技術と農具と種子が与えられ、農地の交換を含めた公平な生活が保障されていたのではないだろうか。

次回に続く

参考・引用文献 田上遺跡群発掘調査報告書 金沢市埋蔵文化財センター・日本史小百科 荘園 安田元久・日本の歴史 飛鳥と奈良 読売新聞社・茜さす日本海文化 浅香年木・わがふるさと今むかし 田上公民館・荘園の歴史地理的世界 中野栄夫・加賀志徴 森田柿園・豪族のくらし 田中広明・他。

郷土歴史研究家 亀田輝之

## まちづくり活動

令和3年10月～  
令和4年3月



第5回花植え(11/13)



緑地小公園清掃(毎月)



プランター撤去(11/28)



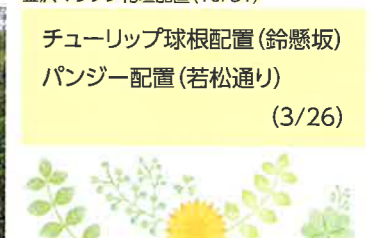
チューリップ球根植え(10/23)



落葉清掃(12/5)



金沢マラソン花壇配置(10/31)



チューリップ球根配置(鈴懸坂)  
パンジー配置(若松通り)  
(3/26)

## 郷土こぼれ話 若松飴の由来

若松飴の由来について、いろいろ言われているが、若松に昔から言われてきた言い伝えが2、3ある。其の1 若松には川が流れていたが、低いところを流れているので、米を作るのに必要な水が得られるところが少ないので苦勞してきました。土地の名前に畑田（はだけだ）と言うところは、雪や雨が谷から水が多くなる年には、田圃に米を作り、少ない年には畑にしていたところです。5百数十年前、蓮如上人が若松に来て、布教をしていた頃、若松は米が作れなくてみんな困っていました。特に赤ん坊は、母乳・重湯も少なくて飢えていました。これを見た蓮如上人は、村人たちに大麦を作り、その麦芽で水飴を作って子供に食べさせる事を教えてくださいました。これ以後、若松の人たちは大麦から飴を作り、近在の村々へ売り歩いて生活するようになりました。これが若松飴の始まりだと言われています。其の2 若松は其の1に書いたように、昔から大麦が作られてたと思われまます。江戸時代には若松の麦を、前田の殿様に年貢として納めていました。前田家では、加賀の国

でとれた米や麦を、大野港より船で大阪、京都や江戸に送って売っていました。若松の大麦は、浅野川で川船を使って大野港まで運ばれ、そこから大きな船に積み替えて遠くに運ばれていたのです。ある年のこと、麦を川船に積むために浅野川の船着き場に積んでおいたところ、大雨が降ってきて麦を運ぶことが出来なくなってしまいました。雨に濡れてしまった麦からは、芽が出てしまいました。これでは売り物になりません。それを見た春日町の菓子屋さんが、その麦を売ってくれと言って持っていき、その麦芽から飴を作りました。そして若松の麦から作ったので、若松飴という名前が売られたのです。これが若松飴の始まりだとも言われています。どちらが正しいのか分かりませんが、私の小さい頃（10歳前後の昭和15年頃）、母が麦芽で水飴を作っていたのを覚えています。また、浅野川の船着き場は、今の鈴見橋の下の地藏尊のあるあたりにあって、昭和15年頃まで使われていました。

平成11年12月 松尾 三郎(若松町)

現在金沢市小橋町にあります「たわらや」の船も、かつて若松の麦を使って作っていたようです。

# クロスワードパズル

①	②		③	④	⑤	A	
⑥		⑦	E	⑧			H
		⑨	G	⑩			
⑪				C		⑫	⑬
	⑭	⑮		⑯			
⑰		F	B		⑱	⑲	D
⑳						㉑	

答	A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---	---

## → ヨコのカギ

- 通りすがり
- 1銭の10分の1
- 互いに聞いたり、話したりする
- 保養地のこと
- 米飯等に主に魚介類を組み合わせた和食
- 食物に添える風味を増す香辛料
- ふすまに貼る厚手の紙
- 月曜の次の曜日
- 物の一番下
- 魚を取り込むもの
- 天体のひとつで地球の衛星

## ↓ タテのカギ

- やま〇〇、ひめ〇〇の名
- ともしみと読む
- 金貨のこと
- 他に頼って成り立っていること
- 夏に浴びる水や湯の出る装置
- 小さな体に、つぶらな瞳の動物
- 東京都のうち、23区を除いた市町村の称
- 料理の味に使う味噌の種類
- 金や物を貸し与える
- 国家の象徴とする歌
- 生産者が製造、卸売りをすること
- 卵の黄色い部分

◎40号の正解者の中から抽選で15名様に粗品を5月上旬に発送します。  
 ◎40号の解答は、令和4年7月発行の41号に掲載します。  
 ◎39号の解答は「モリノサトキネンリョクチ」公園でした。

## 応募方法

◎郵便はがきに解答と住所、氏名、感想等を記入し、4月30日まで、次の所へお送りください。  
 〒920-1165 金沢市若松町3-281  
 NPO金沢杜の里情報公開委員会係

## 委員会だより

情報公開委員会は、次の事業に取り組んでおります。

- ニュース（会報）の発行は、街づくり活動の結果や地域情報等を年3回（4、7、11月）発行し、会員、各団体等に配布しています。
- ホームページの開設による情報公開については、街づくり活動及び地域情報を多方面に発信し、情報活動の輪を広げる事業を行っており、地域交流委員会、環境保全委員会とともに、当法人の事業運営の推進に努め、地域の緑豊かな潤いある住みよい街づくりを、次世代に受け継いでいくこととしています。

## お知らせコーナー

### 4月～6月行事予定

- ◎通常総会の開催
  - ・6月5日（日）AM 9:30～
  - 杜の里児童館
- ◎環境保全・花いっぱい運動事業
  - ・花苗植付 4月23日（土）、5月7日（土）
  - 6月18日（土）
  - いずれも8:30から行います。皆さまのご参加をお待ちしています。

## 新型コロナウイルス 感染予防を

3月21日まで、まん延防止等重点措置が延長された経緯があり、予断を許さない状況と思われます。

引き続き、基本的な感染拡大防止に努めましょう。

- マスクの着用、こまめな手洗いや換気、人との距離の確保
- 混雑した場所や感染リスクの高い場所への外出は控えましょう
- 会食はなるべく少人数で黙食を 会話の時はマスク着用



令和4年度がスタートしました。新型コロナウイルスの感染拡大で、ここ2年間、通常総会及び各イベントが中止となりましたが、今年度、収束し従前どおり開催できることを願っています。

当法人は今年もより一層、豊かな自然環境と景観の保持及び緑と花の溢れる街づくり活動を会員一同取り組んで参ります。皆さまの温かいご意見、感想等のお便りが更なる街づくり事業の励みになります。（編集後記）